

校区運動会の昼休憩の時、おばさんたちが忙し  
そうに皆のお世話をしていたので、僕も手伝お  
うとしたら、「女の子たちがやるからいいよ」と  
止められました。おじさんたちはゆっくり弁当  
を食べているし……。

それでも「やります」と言いにくくてモヤモヤ  
しました。



「男の子だから、女の子だから」ということで役割を決めつけられ  
ることへの`僕、のモヤモヤは、私たちに、`僕、だけのこと、`現  
在（いま）、だけのことに止まらず、次世代の`僕たち、が生きる  
地域・社会のありかたを見通す深い意味を問いかけています。

また、固定的な性別役割分担意識に基づく慣行等地域における様々  
な`ジェンダーなこと、は、多様化する人々の価値観やライフスタ  
イルへの対応を困難にし、特に若い女性が大都市圏に流出する全国  
的な傾向の要因にもなっており、その理由の一つとして「地元や親  
元を離れたかった」ということが挙げられています。

あなたの地域のイベントや行事では、「性別による固定的な役割分  
担」が、昔ながらの慣行として無意識のアタリマエになっていない  
でしょうか？